

	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1
	誤えん有害性	分類できない
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

注) GHS分類のための情報, 知見が入手不可である成分は評価に含まない又は分類不可とした。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 飲み込むと有害。

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。

乾燥後の製品を研削・切断等することにより生じる粉じんの吸入による発がんのおそれ。

乾燥後の製品を研削・切断等することにより生じる粉じんの長期にわたる又は反復ばく露による免疫系, 呼吸器, 腎臓の障害。

注意書き:

【安全対策】 使用前に取扱い説明書 (取説が無い場合: 安全データシート等) を入手し, 全ての安全注意を読み, 従ってください。

乾燥後の製品を研削・切断等することにより生じる粉じんを吸入しないでください。

(8.項に示す)適切な保護具を着用してください。

取扱い作業場所で飲食または喫煙をしないでください。

取り扱い後はよく手を洗ってください。眼を触らないでください。

【応急措置】 ばく露またはその懸念がある場合は, 医学的助言を求めてください。

気分が悪いときは, 医療処置を受けてください。

飲み込んだ場合: 口をすすいでください。無理に吐かせないでください。

皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱いでください。すぐに水で数分間洗ってください。

汚染された衣服を再使用する場合には洗濯をしてください。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し,呼吸しやすい姿勢で休息させてください。すぐに救急の医療処置を受けてください。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。

医療処置を受けてください。

【保管】 雨がかりのある場所に製品を保管 (貯蔵) しないでください。

包装容器は直射日光の当たらない冷暗所に保管してください。

開封後は乾燥を防ぐために密閉して保管してください。

本品は接着剤ですので, 硬化が促進する可能性があります。上記保存方法でも製造後 6 ヶ月経過すると硬化する場合がありますので, 速やかにご使用ください。

開封後は時間の経過と共に硬化が促進しますので速やかにご使用ください。

【廃棄】 都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に業務委託してください。

3. 組成, 成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物

化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示 整理番号	含有量 (%)
けい酸ナトリウム	1344-09-8	1-508	45～55
結晶質シリカ(石英)	14808-60-7	1-548	10～20

注) 主成分及び危険有害性があると思われる原材料について表中に記載

本製品中には石綿繊維は全く入っておりません。本製品は、ホルムアルデヒド発散建築材料には該当しない告示対象外材料です。したがって、建築基準法規制対象であるクロルピリホス及びホルムアルデヒドは原料、工程にて使用しておらず含まれておりません。さらに以下に示す化学物質も同様に使用しておりません。

トルエン, キシレン, パラジクロロベンゼン, エチルベンゼン, スチレン, フタル酸ジ-n-ブチル, テトラデカン, フタル酸ジ-2-エチルヘキシル, ダイアジノン, アセトアルデヒド, フェノカルプ, その他の揮発性有機化合物

4. 応急措置

- 飲み込んだ場合： 口をすすいでください。
無理に吐かせないでください。
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けてください。
- 皮膚に付着した場合： 直ちに汚染された衣類を全て脱いでください。
皮膚を流水/シャワーで洗ってください。
- 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- 眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗ってください。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合： 医師の診断/手当てを受けてください。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をしてください。

5. 火災時の措置

- 不燃性なので、火災時の措置は特にありません。
適切な消火剤： 不燃性のため該当しない
使ってはならない消火剤： 不燃性のため該当しない

6. 漏出時の措置

- ・人体に対する注意事項
本製品の容器が壊れ、床面などに製品がこぼれた場合は、皮膚に付着したり、眼に入らないよう8. 項に示す適切な保護具を着用し、速やかに清掃してください。
- ・環境に対する注意事項
河川等に排出され、環境に影響を起こさないように注意してください。
- ・封じ込め及び浄化の方法及び機材
少量の場合はウェス等で拭き取ってください。多量の場合は、必要に応じてタンクにできる限り回収してください。

7. 取り扱い及び保管上の注意

【取扱い上の注意】

- 使用前にこの安全データシートを入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
8. 項に示す適切な保護具を着用してください。
取扱い作業場所で飲食または喫煙をしないでください。

【保管上の注意】

雨がかりのある場所に製品を保管（貯蔵）しないでください。

本品は接着剤ですので、硬化が促進する可能性があります。包装容器は直射日光の当たらない冷暗所に保管してください。

上記保存方法でも製造後6ヶ月経過すると硬化する場合がありますので、速やかにご使用ください。

開封後は時間の経過と共に硬化が促進しますので速やかにご使用ください。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：必要に応じて取り扱い場所の近くに手洗い場又は洗面器等を設置してください。

- ・眼、顔面の保護具

JIS T 8147 に適合した、スペクタクル形またはゴーグル形の保護めがねを着用してください。

- ・皮膚及び身体の保護具

作業に適した不浸透性の保護衣を使用し、皮膚が露出しないようにしてください。

- ・手の保護具

JIS T 8166 に適合した、不浸透性の化学防護手袋を着用してください。

推奨素材：ニトリルゴム製保護手袋，ブチルゴム製保護手袋

不浸透性の化学防護手袋でないもの（軍手などの作業手袋）は使用しないでください。

- ・呼吸用保護具

乾燥後の製品を研削・切断等する際は、国家検定に合格した防じんマスクを着用してください。

防じんマスクの装着にあたっては、フィットテストなどを行い顔面への密着の状態に特に留意してください。取替え式防じんマスクについては、フィルタの点検と交換，吸排気弁の劣化確認等の保守管理を適切に行ってください。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	ペースト状
色：	灰色
臭い：	なし
沸点：	約100℃
凝固点：	約0℃
可燃性：	不燃性
爆発下限界，爆発上限界／可燃限界：	該当しない
引火点：	非引火性
自然発火点：	なし
分解温度：	データなし
pH：	11～12（アルカリ性）
動粘性率：	データなし
蒸気圧：	該当しない
密度：	1.5～1.9 g/cm ³
相対ガス密度：	該当しない
粒子特性：	該当しない

10. 安定性及び反応性

空気中に放置すれば固化します。

反応性： 大気中に放置した場合，固化する。

化学的安定性： 酸で一部溶解するが，詳細なデータはない。

危険有害反応可能性： データなし

避けるべき条件： データなし

混触危険物質： データなし

危険有害な分解生成物： データなし

11. 有害性情報

- 急性毒性（経口）： 「けい酸ナトリウム GHS分類区分4」を45～55%含有するため区分4とした。
- 急性毒性（経皮）： データ不足のため分類できない。
- 急性毒性（吸入：ガス）： 区分に該当しない。
- 急性毒性（吸入：蒸気）： 区分に該当しない。
- 急性毒性（吸入：粉じん）： データ不足のため分類できない。
- 急性毒性（吸入：ミスト）： 区分に該当しない。
- 皮膚腐食性・刺激性： 「けい酸ナトリウム GHS分類区分1」を1.0%以上含有しているため、区分1とした。
- 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 「けい酸ナトリウム GHS分類区分1」を1.0%以上含有しているため、区分1とした。
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性： データ不足のため分類できない。
- 生殖細胞変異原性： 「結晶質シリカ(石英) GHS分類区分2」を1.0%以上含有し、切断加工時に粉じんばく露の可能性があるので区分2とした。
- 発がん性： 「結晶質シリカ(石英) GHS分類区分1A」を0.1%以上含有し、切断加工時に粉じんばく露の可能性があるので区分1Aとした。
- 生殖毒性： データ不足のため分類できない。
- 特定標的臓器毒性（単回ばく露）： データ不足のため分類できない。
- 特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 「結晶質シリカ(石英) GHS分類区分1」を1.0%以上 10%未満含有し、切断加工時に粉じんばく露の可能性があるので区分1とした。
- 誤えん有害性： データ不足のため分類できない。

〔その他成分の情報〕

・結晶質シリカの情報

- 急性毒性： なし
- 生殖細胞変異原性： *in vivo*, *in vitro*でのhprt遺伝子突然変異試験より、遺伝性疾患のおそれの疑いがある。
- 発がん性： IARC発がん性 グループ1（ヒトに対して発がん性がある。）
- 慢性毒性： 長期間、多量に結晶質シリカを吸入したとき、じん肺などを起こすおそれがある。
- その他： 短期暴露でも吸入濃度が高い場合は呼吸器系に影響を及ぼすおそれがある。

・けい酸ナトリウムの情報

Na₂O・SiO₂として、次の情報がある。

- 急性毒性： 経口 LD₅₀ ラット： 1,280mg/kg
1,600mg/kg
マウス： 1,100mg/kg
ウサギ： 1,100mg/kg
- 皮膚刺激： アルカリ性で激しい刺激有り
- 眼刺激： 組織を刺激し激しい痛みを伴う。
- 摂取： 気管支、肺、胃などの粘膜を刺激する。

12. 環境影響情報

- 水生環境有害性 短期（急性）： データ不足のため分類できない
- 水生環境有害性 長期（慢性）： データ不足のため分類できない
- 残留性・分解性： データなし
- 生物蓄積性： データなし
- 土壌中の移動性： データなし

オゾン層への有害性： データ不足のため分類できない

〔その他成分の情報〕

・ けい酸ナトリウムの情報

Na₂O・SiO₂として、次の情報がある。

魚毒性：	<i>Ganbsia affinis</i> (淡海)	TLm 96h 2,400ppm
		TLm 96h 2,400ppm
	<i>Amphipoda</i>	TLm 48h 263ppm
		TLm 96h 1600ppm
	<i>Dephnia magna</i> (無脊椎)	TLm 96h 247ppm

排水基準： 水質汚濁防止法 総理府令水素イオン濃度5.8～8.6を遵守する。
(各地域の条例等で基準がある場合には、これに従う。)

13. 廃棄上の注意

本製品を事業活動に伴って廃棄する場合は、産業廃棄物になります。本製品を廃棄する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従ってください。また、洗浄水等の廃水は凝集沈殿、活性汚泥等の処理により洗浄してから排出してください。その他、水質汚濁防止法に従ってください。

14. 輸送上の注意

輸送の際は、容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下等による損傷が無いよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。

国内規制 第 15 項を参照のこと

国際規制

海上輸送 (IMDG)

国連番号 (UN Number)	3262
輸送品名 (Proper Shipping Name)	CORROSIVE SOLID, BASIC, INORGAINC,N.O.S
クラス	8
包装分類 (Packing Group)	III
危険性ラベル	corrosive

航空輸送

国連番号 (UN Number)	3262
輸送品名 (Proper Shipping Name)	CORROSIVE SOLID, BASIC, INORGAINC,N.O.S
クラス	8
包装分類 (Packing Group)	III
危険性ラベル	corrosive

15. 適用法令

労働安全衛生法	通知対象物質：結晶質シリカ (石英) がん原性物質：結晶質シリカ (石英)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	適用なし
船舶安全法	腐食性物質
航空法	腐食性物質
海洋汚染防止法	有害性液体物質 Y 類物質 (船舶によりばら積みの液体貨物として輸送されるものに限る)
水質汚濁防止法	生活環境項目 (施行令第三条第一項) (水素イオン濃度の排出基準) 海域以外の公共用水域に排出されるもの 5.8 以上 9.0 以下

	海域に排出されるもの 5.0 以上 9.0 以下
粉じん障害防止規則	適用なし
じん肺法	適用なし
毒物及び劇物取締法	適用なし
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR 法)	適用なし

16. その他の情報

〔参考文献〕

- 1) 労働省告示第79号：作業環境評価基準（令和2年4月22日改正）別表
- 2) 発がん性物質の分類とその基準(第7版)：(社)日本化学物質安全・情報センター(2007)
- 3) 化学物質総合情報提供システム：独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE)
- 4) JIS Z 7253：2019 (GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート (SDS))

この情報は新しい知見に基づき，改訂されることがあります。

記載内容のうち，含有量，物理／化学的性質等の情報は保証値ではありません。危険・有害性の評価は，現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが，すべての資料を網羅したわけではありません。